

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ドル\$)	日本円	備考
授業料		円	交換留学の為明治大学の授業料のみ
宿舍費	7800	1,060,000 円	Peavine double room 1 年間
食費	4600	630,000 円	Meal Plan Gray 1 年間
図書費	410	56,000 円	秋学期春学期合わせて教科書 7 冊(電子版も含める)
学用品費		円	
携帯・インターネット費	240	35,000 円	12ヶ月の契約
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	90	12,000 円	フィットネスセンター(ジム)のお金
被服費		円	
医療費		45,000 円	渡米するための予防接種、健康診断
保険費		107,000 円	形態:明治大学の加入必須の海外保険。アメリカの大学生は大学の健康保険に入らなければいけない義務がありますが、明大で入った海外保険で代用できるので、免除申請できました。
渡航旅費		467,000 円	往復のチケット。購入した当時円安が進んでいたのととても高かった。
ビザ申請費	220	30,000 円	
雑費	1100	15,000 円	日用品など。(寝具、シャンプー、リンス、コップなど)
その他	3600	500,000 円	旅行、土産など。飛行機代。冬休みに帰国しなかったので知り合いのお家に滞在費を払った。(1日20ドル) 旅行→ロサンゼルス2回、サンフランシスコ2回、ニューヨークなど
その他	1600	220,000 円	ネバダ大学リノ校に支払った金額(カウンセリングセンター、ヘルスセンター、international fee、学生組合など)
合計	19,660	3,177,000 円	

渡航関連

渡航経路	
往路 出発地:羽田 目的地:リノ 経由地:サンフランシスコ	
復路 出発地:リノ 目的地:羽田 経由地:ロサンゼルス	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:ANA 料金:46万円	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:)	
<input type="checkbox"/> その他()	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Peavine hall) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
情報がなにもなく困っていたので、前年に留学されていた先輩のメールアドレスをもらってからその方と LINE を交換しお薦めの寮を聞きました。	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
Peavine は比較的新しい寮のようで他の寮に比べると評判も良かったです。シャワーが一回壊れましたがすぐに工事の人が来てくれ直してもらいました。部屋で過ごしていてそこまで不便なことはありませんでしたが、部屋にキッチンがないので食事は食堂やキャンパス内のお店で済ますしかありません。秋学期の時のルームメイトが冷蔵庫と電子レンジを持ってきていたのでたまに使わせてもらっていました。私は料理ができないので寮一択で考えていましたが、ホームステイしている友達もいて、過ごしていくうちに料理は慣れると言っていたので、アパートやホームステイも視野に入れていいと思います。寝具がないので注意です。	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

- なし
 あり (治療を受けた場所: 大学内の Health Center 結果的にインフルエンザでした。)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 (例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

- なし
 あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

私が留学している間に銃の乱射があり、そのような情報は全て大学からメールが送られてきて知ることができました。犯罪に巻き込まれないための対策としては、夜暗くなってからは1人で外に出歩かないようにしていました。幸い犯罪に巻き込まれたことはなかったです。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

アメリカに来る前にネバダ大学リノ校から送られてきた Mint Mobile を使っていました。アメリカに到着してすぐは Wi-Fi の調子が悪かったのですが、最初だけであとは特に問題はありませんでした。大学内のどこでも Wi-Fi が使えるのでとても便利だし、年間で 240ドルと安かったです。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

秋学期は基本的にクレジットカード 2 枚 (Visa/Master) と現金 500ドルほど持ち歩いて使っていました。旅行に行った際もどこでもクレカは使えることができたので不便な点はありませんでした。現金は友達と割り勘をする際や、現地の人に旅行に連れて行ってもらった時にガソリン代やホテル代として渡していました。

春学期からはバイトを始めた関係で現地で銀行口座 (Wells Fargo) を開設しました。この銀行口座のモバイルアプリでお金を友達に送ったりすることができたのでとても便利でした。銀行口座を開設する際に現金 15ドル~20ドル必要だったと思います。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

基本的に大学の近くのドラッグストア (Walgreens) で生活必需品は揃えられます。私は日本からシャンプーやリンスを持参しませんが現地でもいつでも調達できます。化粧品は自分に合ったものを使うのがいいと思うので日本から持ってくるべきです。また、日本の食べ物が恋しくなる時もあるので煎餅やチョコレートを持っていくといいと思います。また、リノはとても乾燥していて私はすぐに風邪を引いてしまったので、日本の薬類は多めに持ってくるいいと思います。のど飴もあるといいと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)



学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
27 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
SOC101 Prin of Sociology	社会学入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	2022 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義&ディスカッション形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Joseph Tucker, MA
授業内容	文化の発展、社会の構造、人間集団、制度、階層化の基礎について学びます。教授が講義をする中でたくさん質問をし、発言したい人は手を挙げて答えます。
試験・課題など	毎週教科書の一章分を読んでくる必要があります。予習は必須。毎週クイズがあり、800 字程度の Research Paper を 3 回書かなければなりません。試験は 3 回。
感想を自由記入	課題がとても多く私の場合教科書をざっと読んでからではないと授業についていけなかったので予習する量がとても多く大変でした。しかしそれ以上に授業の内容はとても面白くアメリカの社会構造や階層化はなぜ起きるのかなどを学ぶことができました。また、教授がとても親切な方で毎回授業終わりに話しかけにきてくれたり、私のために YouTube のビデオの英語字幕をオンにしてくれました。課題は少し大変ですがお勧めの授業です!

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
ENG112A Academic Listening and Speaking		留学生のための英語 Listening & Speaking	
科目設置学部・研究科			
履修期間	2022 秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式、グループ活動(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Amy E Metcalf		
授業内容	これは非ネイティブのための授業で、英語のリスニング力とスピーキング力向上を目指す授業です。ペアで会話をしたり英語のニュースを聞いてそれをメモしたりすることがメインでした。		
試験・課題など	課題は少なめ。試験は中間と期末の 2 回のみ。ペアでスピーチ発表や、グループで podcast を作る課題もありました。		
感想を自由記入	渡米前に受ける英語のテストでどの英語のクラスに行くか判断されます。この授業は私が秋学期の授業の中で一番楽しくて英語の楽しさを知ることができた授業でした。フランス、イタリア、スリランカ、韓国、チュニジア出身のクラスメイトと毎回英語で交流することができ、いい経験になりました。日本人のクラスメイトも多めでした。初対面の人になんと話しかければいいのか、文化の違いとはなんなのかについて学びましたが、教授の Amy がとてもフレンドリーで明るく優しい先生でみんなが気持ちよく参加できる授業を作ってくれていました。お菓子をもらえることも多かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
GRI103 Intersectional Analysis Ident		インターセクショナルリティに関する分析	
科目設置学部・研究科			
履修期間	秋学期 2022		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Patrick T. Jackson		
授業内容	ジェンダー、セクシュアリティ、人種や民族などの問題をさまざまな角度からみていく授業です。授業の中で動画や映画を見る機会が多かったです。		
試験・課題など	課題は少なめ。毎週の課題はほとんど無し。中間試験と期末試験 2 回の試験。最後に 6~8 ページのリサーチペーパーを書く課題があります。		
感想を自由記入	アメリカでジェンダーを学びたいと留学する前から思っていたのと、アドバイザーの人からこの授業をお勧めされたのでとってみることにしました。アメリカではジェンダーだけでなく人種や移民など多くの問題が複雑に絡み合っていることを学ぶことができました。毎週の課題が少ない分、試験やレポートをしっかりやらないと成績が取れないということもあり、期末試験の期間は必死に勉強しました。この授業は基本的に教授の話の聞いているだけなので正直眠くなることも多々ありました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
PSC211 Intro to Comparative Politics		比較政治学入門	
科目設置学部・研究科			
履修期間	2022 秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	オンライン、オンデマンド(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 分が 回		
担当教授	Susanne Martin		
授業内容	政治システムの研究。議会のことや多くの国の政治システム、民主主義とは何かについて学習しました。とても難しかったです。		
試験・課題など	毎週のクイズ 2 種類、毎週教科書を読んで予習、試験は 2 回(オンラインで監視される)、レポートは無し		
感想を自由記入	正直この授業は取ることをあまりお勧めしません。毎週の課題がとてつもなく多いし、何より毎週末のクイズがかなり難しいです。この授業は単位が取れるのか毎日ヒヤヒヤしながら受けていました。ただ、政治システムの専門的なことは日本ではなかなか学べないのでいい機会だったと思います。直接教室に行かなくていいから楽そうだと思ってオンデマンド型にしましたが、わからないことがあったときにすぐに質問できないし助け合いができないので、オンデマンド授業の難しさを知りました。政治学に興味がある人は面白いと思います。ただ、教科書のページ数がとてつもなく膨大です。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
ANTH101 Intro to Cultural Anthropology		文化人類学入門	
科目設置学部・研究科			
履修期間	2023 春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	John Ostermiller		
授業内容	政治、宗教、経済、親族関係などの疑問やトピックの比較研究を通じて、人間の多様性について学びます。週 3 回の授業のうち週に 2 回は講義を聞く授業、残りの 1 回は小さなグループに分かれて行うディスカッションのクラスでした。		
試験・課題など	学期に 5 回ミニレポート、4 回の試験、ディスカッションクラスでのリーディング課題		
感想を自由記入	政治や宗教のことだけでなくメディアや女性問題についてなど幅広い話題を扱うのがこの授業の魅力だと思います。教授が日本にとっても詳しいので日本の政治のことやアニメのことにも触れていて授業は楽しかったです。毎週ディスカッションのクラスのためにリーディング課題を読むのはとても大変でしたが、現地の学生の意見を聞くことは新鮮で面白かったです。段々と私も自分から発言できるようになったのが成長を感じられて嬉しかったです。ディスカッションを担当してくれる TA の方がとても親切で、毎回授業が終わった後に「わからないことはない? 英語のスピードが早かったら言ってね」と声をかけてくれました。授業中に出てくるスライドはキャンパスにアップされないので授業中に全部メモを取って集中することが大事だと思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
PSY101 General Psychology		一般心理学	
科目設置学部・研究科			
履修期間	2023 春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回		
担当教授	Dr. Ramona A. Houmanfar		
授業内容	人間の体の仕組みや気持ちについて詳しく学びます。この授業は特殊で TA が週に一回授業をしてくれるのですが、自分のいく授業を毎週ポータルサイトで選択し申し込む必要があります。私が毎週行っていた授業は 90 分の授業でしたが、60 分の授業もありました。		
試験・課題など	毎週金曜日までに三つのクイズに答えて提出する必要がありました。難易度はかなり高め。ミニレポート、リサーチペーパー、中間試験、期末試験。		
感想を自由記入	春学期受けていた授業の中でこの授業が一番大変で、毎週のクイズが負担になっていたというのもそうですが、何より授業内容がとても難しく専門用語ばかり出てきて何回も心が折れそうになりました。101 の授業だから基礎だと思ってこの授業を取ったのですが予想と大きく違っていました。なんとか単位は取得できましたがこの授業はあまりお勧めしません。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
WMST101 Introduction to Women's Studies		女性学入門	
科目設置学部・研究科			
履修期間	春学期 2023		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Sarah Purdy		
授業内容	歴史的、文化的観点から社会の中での女性の地位などを分析します。基本的に教授が講義して発言したい生徒が発言し、授業の中で何回かグループで話し合う時間もありました。		
試験・課題など	課題は少なめ。毎週水曜日までにオンラインのディスカッションボードに自分の意見を英語 250 字以上で書く必要があります。あとは中間試験と期末試験のみです。		
感想を自由記入	私はジェンダーについて留学前から関心があったのでこの授業を履修することにしました。この授業をとってアメリカや他の国では単に男女差別が存在しているだけでなく、移民や民族の問題が複雑に絡まっており人身売買や性差別が深い問題になっていることを学びました。自分の知らない事ばかりで授業を受けるのは楽しかったです。また、教授がとても優しく毎週の課題にも丁寧にコメントを返してくれます。取ってよかった授業の一つです。いい成績をとりやすい授業だと思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
DAN101 Dance Appreciation	ダンス鑑賞
科目設置学部・研究科	
履修期間	2023 春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回
担当教授	Eve Allen Garza
授業内容	さまざまな国のダンスやバレエの歴史、ウエストサイドストーリーの背景など、ダンスに関する文化や歴史を講義形式で学びます。授業の中で動画をたくさん見て実際のダンスがどんなものなのか知ることができます。
試験・課題など	毎週一回か二回ほどリーディング課題が出てそれに関するクイズに答えます。レポート一回。春に行われるダンスコンサートに行つてそれに関する response report を書く必要がありました。中間試験、期末試験。
感想を自由記入	せっかくなら日本では学べないような授業を一個とって見たいと思っていたのでこのダンスの授業を履修することにしました。小さいホールで受ける授業で毎回リラックスして受けられていました。さまざまな国の伝統的なダンスや歴史を学んで毎回知らないことが出てくるのでとても面白かったです。週 3 回朝 9:00 からの授業なので朝が多少辛く、どんどん人が減っていきましたが私は休むことなく参加しました。その結果好成績を維持したまま終わりを迎えることができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
HDFS201 Lifespan Human Development	寿命 人間の発達
科目設置学部・研究科	
履修期間	2023 春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Sarah Mitchell
授業内容	胎児期から成人後期までの人間の発達について学びます。人はどう成長していくのか、心情はどのように変わっていくのかについて考察します。この授業はオンライン(オンデマンド)なので教科書を自分で読んで動画も見て全て自己管理でやる必要がありました。
試験・課題など	毎週提出するミニレポート、クイズ。学期に二回あるインタビュー課題。中間試験、期末試験。
感想を自由記入	人間の発達の段階について学ぶことができとても興味深く、取ってよかったなと感じています。読まなければいけない教科書の量がとても多くそこは大変でしたが、教科書に書かれている内容もとても面白かったのであまり苦なく読むことができました。また、インタビューの課題で私は祖母に話を聞き、今まで聞いたことのない祖母の生涯について聞くことができたのはいい機会だったなと感じています。この授業もしっかり取り組みれば好成績が取れると思います。



卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	明治大学入学
	8月～9月	夏に TOEFL を受ける(TOEFL は留学出願に必要)
	10月～12月	留学先を考える、面接、12月留学先決定&合格
留学開始年	1月～3月	3月留学先大学に出願、必要書類の準備、4月に必要な予防接種を終わらせる
	4月～7月	6月留学先大学から入学許可証が届く、7月ビザ申請、履修登録、航空券購入
	8月～9月	留学開始(秋学期)
	10月～12月	中間試験、期末試験、春学期が始まるまで知り合いのお家に泊めてもらう
留学/帰国年	1月～3月	1月春学期開始、銀行口座開設、バイトのための書類準備、2月バイト開始
	4月～7月	中間試験、バイト終了、期末試験、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

・この留学先を選んだ理由

留学先を決める中で過去の先輩の留学体験記を読んでいたところ、日本語を学ぶ学生が多くその人たちと交流できる機会が多いと書かれていたのを見て、そこに魅力を感じました。また、都会すぎないところでのんびりと過ごしたかったのでネバダ大学リノ校に出願することにしました。それから大学のホームページを見たときに、大学の建物が煉瓦造りで綺麗でかっこいい！と思ったのも決め手の一つでした。

・渡航前準備、手続き

留学中の勉強もちろん大変だったのですが何より大変だったのが留学前の準備段階でした。入学許可証が届いたのが6月中旬で、それが無いと何も始められなかったのどにかく焦っていたことを覚えています。大学に提出するフォームや書類がとても多い上に複雑なので、わからないことがあったらすぐに留学先大学にメールして確認していました。時差があるせいで返信も早くないので疑問点はすぐに送って早く解決した方がいいと思います。また、私はビザ申請の手続きが遅れてしまい面接に行ったのが渡航日の3週間前とギリギリだったのでビザ関連は早めに手続きしておくことを強くお勧めします。

・大学、大学周辺の雰囲気と環境

リノという街が山に囲まれており天気もいいのでとても穏やかです。キャンパス内の中も木がたくさんあり夏は緑いっぱい景色を、冬は雪景色を楽しむことができます。キャンパスはとても大きく大学の端から端まで移動するのに30分以上はかかると思います。大学から少し歩くとダウンタウンに出て、そこではカジノのお店やホテルがたくさんあります。とても乾燥しているためどれだけ暑くても汗をかかないことが面白かったです。とにかくどこを見ても景色が綺麗で毎日景色を楽しんで登校していました。大学近くから出ているバスは学生証を見せると無料になるのでたくさん活用してください！

・寮と食事

寮生活は快適でしたがキッチンが無いのが不便なところでした。食堂にはピザ、ハンバーガー、ポテトなどカロリーの高いアメリカンの食べ物や揚げ物が多く、その他の食べ物は正直美味しくはありませんでした。サラダバーがあるので毎日サラダは多めに食べていました。バイキング形式なので気づくと食べすぎて胃もたれしやすくなってしまいますので食事管理が大切だと思いました。寮では私は2人部屋に住んでいてルームメイトはとても親切でお互いに干渉しない関係を築けていましたが、それでもルームメイトがいる生活はかなり気を使うものでした。快適に暮らしたい人には1人部屋がお勧めですが値段がとても高いです。寮では定期的にイベントが行われていました。私は頻繁に参加していませんでしたが、そこでフリーフードをもらえたり友達ができる機会もあるのでぜひ参加してみてください。

・交友関係

この1年間の留学を通して私は台湾や韓国の留学生と仲良くなり親友と呼べる子までできました。そのような子たちとは最初の留学生のためのオリエンテーションで出会い連絡を取り続け定期的にキャンパスで会うようになり、最終的には一緒に旅行する仲になりました。また、台湾の留学生の子がホームステイしており、そのホームステイ先を管理しているアメリカ人の夫婦が毎週日曜日の夜に夜ご飯を無料で振る舞うイベントを開催しており、そこに毎週行くことで大学生からご年配の人までさまざまな世代の人とたくさん話して友達になることができました。そこで出会った人たちとは帰国した今でも連絡を取り続けており、いつかどこかで再会しようと話しています。周りの人たちに恵まれ、自分のことを認めてくれる人のおかげで、自分のことをさらに好きになれた期間でした。私がアメリカで生活していく中で意識していたのはフツ軽になることです。アメリカ人の友人はパーティーやさまざまなイベントに招待してくれることが多かったので、誘われたらとりあえず行ってみようというのを心がけていました。その結果たくさんのバックグラウンドを持った人たちに出会うことができ自分の価値観が広がった気がします。

・まとめ、感想

9ヶ月間住みなれた街を離れて家族のいない環境で生活することは、私にとって人生最大の決断だったし大きな冒険だったと思います。留学前は準備はしているものの自分が本当に留学に行くという実感が湧かなくてふわふわしていました。不安や怖さがある中日本を離れ、人生で初めてホームシックというものを経験しました。ホームシックはアメリカについてすぐ1週間ほど続きました。そこが振り返ってみると一番精神的に辛かったなと思います。

ホームシックから回復できたのは新しい人との出会いでした。多くのイベントに行きたくさんの人と出会い慣れない英語に戸惑いながら友達を作っていくと、自然と悲しい気持ちは消えていきました。そこで感じたのは何事も行動力が大事だということです。自分から動かなければ友達は作れないし英語も話せない。とにかく新しい環境に飛び込んでなんでも楽しんでやる！という気持ちでいると自然と話せるようになるし友達もできていました。また、自分がいかに家族に甘えていたか、家族を頼りにしていたかに気づくことができた期間でもありました。

アメリカの大学での勉強は想像の何十倍も大変でした。教授の話していることがわからない、課題が多すぎる、などたくさんことで苦しくなり投げ出したくなる時もありました。しかしそんなときに支えになったのが日本人の友人の存在です。同じ明治大学から来た友達だけでなく、大阪や広島から来た子達と仲良くしていたので、何かあると相談したり弱音を吐いたりしていました。日本人と連むのはあまり・・・という人もいるかもしれませんが、いざというときに母国語で話することができる人がいるという事実は自分にとって大きな支えになるものでした。また大変なときに助けを求めればアメリカの人も留学生の人もみんな助けてくれます。何かあったら1人で抱え込まず人に頼ることも大切だと思います。

これから留学する人たちには思う存分留学を楽しんでほしいです！私はこの留学中に Yosemite 国立公園、ロサンゼルス、サンフランシスコ、ニューヨーク、カリフォルニアディズニーといった観光地に旅行することができました。飛行機や宿の予約を全部自分でやり旅行計画も立てたりと、自分の行動に責任を持って物事を進められていたと思います。私は旅行中、バスや飛行機がキャンセルになったり、空港で朝までずっと待たされたりとトラブルに巻き込まれることが多かったのですが、そこで自分はこれから何をすべきなのか考えられるようになり自分で行動できるようになったと実感しています。旅行は自分を成長させてくれるものです！

留学中大変なことや辛いことの方が多くは必ずです。しかしそれも自分を成長させるためのものであり、後々全て宝物になります。そして日本では経験できないたくさんを経験できます。留学に迷いがある人は不安は一回捨ててぜひチャレンジしてみてください！リノにはたくさんの優しい方がいるので安心できると思います。ネバダ大学リノ校に興味がある人や何か疑問がある人はいつでも連絡してきてください。力になれると思います！皆さんの留學生活が充実したものになることを祈っています。

